

一般質問には 6人が登壇

質問者と質問項目

- 横関望吉応議員……………8頁
 - 文化ホール建設
 - 第1ホール改修の規模と予算額
 - 事業に対する町民の理解
 - 町職員の労働環境
 - 代休消化率の低下要因
 - 時間外勤務手当の抑制
 - 有給休暇の取得率向上
- 佐々木里枝子議員……………9頁
 - 地域公共交通総合連携計画
 - ワンコインバスの路線見直し
 - 実証運行後の対応
 - 保健行政
 - がん検診の受診率向上
 - ピンクリボン運動
 - 障がい者支援対策

～今後の事業展開
- 坂田美栄子議員……………10頁
 - 特定健診・特定保健指導

～実施率と今後の対応
 - がん検診

～がん予防推進員の配置
 - 家庭教育支援チーム

～町教委の対応
- 岡本美代子議員……………11頁
 - 住宅用火災警報器

～既存住宅への設置
 - チャレンジデー

～事業評価と今後の考え方
 - 公立高等学校配置計画

～新たな学科と跡地利用
- 大江道男議員……………12頁
 - 栄養ケアに係る行政監査
 - 指摘した法的な根拠
 - 加算請求権の消滅時効と損害額
 - 行政訴訟と指導監査の可能性
 - 報告の訂正又は再監査の実施
 - 経済危機対策臨時交付金

～申請期限の延長
- 吉住博幸議員……………13頁
 - 職員の昇任

～20年10月に処分した職員を
21年4月に昇任させた基準
 - 政治姿勢

～パークゴルフ場等施設整備基金
積み立てを20年度に行わなかつた理由
 - 選挙公約

～町民に約束した管理職手当及び
職員手当の削減時期

こんなことを聞きました

人事

固定資産評価審査
委員会委員



馬場 義博 氏(再)
東1条北2丁目16番地

任期満了に伴う選任に同意しました



補正予算

- 主な歳出追加の内容は次のとおり。
- コミュニティ助成事業補助金 250万円
- 地域公共交通活性化・再生総合事業負担金 760万円
- 21世紀環境共生型住宅モデル整備による建設促進事業 166万2千円
- 太陽光発電システム設置モニター委託料 250万円
- パークゴルフ場・室内ゲートボール場施設整備基金積立金 1204万5千円
- 陸上競技場4種公認更新施設修繕料 139万7千円
- 学校給食センター設備修繕料 130万2千円

一般会計

特別会計

- 国民健康保険会計は、産休代替臨時職員賃金及び後期高齢者支援金・前期高齢者納付金の増額を。
- 老人保健会計は、支払基金過年度清算金の増額を。
- 後期高齢者医療会計は、円滑運営臨時特例交付金による相談体制整備費の増額を。
- 介護サービス会計は、寄附に伴う備品購入費の増額を。

各会計補正額と補正後の総額

	補正額	補正後の総額
一般会計(第3号)	6,062万4千円	95億8,020万円
特別会計		
国民健康保険(第1号)	1,798万1千円	27億6,643万2千円
老人保健(第1号)	179万6千円	302万2千円
後期高齢者医療(第1号)	44万2千円	2億2,162万円
介護サービス(第1号)	10万円	3億4,881万6千円

()内は補正回数

行政財産 使用料徴収条例の制定

行政財産の目的外使用に係る取扱いを明確にするため、地方自治法に基づき条例を制定するもの。7月1日施行。

動産の取得

指名競争入札により、町有林維持作業車(4ト級・グラップルクレーン付)を138万9500円で、東北海道いすゞ自動車(株)北見支店から購入するもの。

辺地に係る 公共的施設の総合整備計画

豊富・豊岡地区において辺地対策事業債を活用し、個別排水処理施設の整備及び除雪トラックを購入するため、公共的施設の総合整備計画を定めるもの。

町長の行政報告(要旨)



◆ご寄附

5月21日、東2条北1丁目在住の中川トモ子様より、故中川庄一様の一週忌を迎え生前お世話になったお礼として200万円を。

5月29日、仙台市在住の佐久間重利様と、佐久間様が代表取締役会長を務める電建工業株式会社から町のために役立ててと、それぞれ100万円を。

◆資源ごみ収集運搬作業中における事故

3月22日午前8時10分頃、日の出1丁目の町道において、

◆美幌町出身スポーツ選手の 世界での活躍

3月14日にノルウェーのトロンヘイムで開催されたノルディックスキワールドカップにおいて、石田正子選手が

女子30*クラシカルで日本人選手としては初の3位という快挙を成し遂げた。

石田選手は、前回のトリノ冬季オリンピックに日本代表選手として出場。一昨年の世界ノルディック札幌大会では同種目で日本人最高順位をマークするなど、日本の第一人者として成長しており、今回、世界のトップ選手の仲間入りを果たしたところである。

久保恒造選手については、3月11日にカナダのバンクーバーで開催されたIPCワールドカップ最終戦の男子バイアスロン7・5*で、日本人選手初の2位という輝かしい成績を収められた。久保選手は身体の障害というハンディを乗り越え、車い

資源ごみ収集運搬業務の委託先である美幌町資源ごみ収集業組合が作業にあたっていたところ、作業員1人が収集運搬トラック前部と衝突・転倒し、車に巻き込まれる事故が発生した。

被害者が道路に散乱したビンを集めていたところ、後続のトラックが前方の安全を十分確認せずに発進させたために起こった事故である。

事故発生の連絡を受け、関係者と事故処理の対応を行うとともに、翌日には緊急部長会議を開催し、各職場において安全の確認・総点検を行うよう指示。委託先には3月24日から2週間の指名停止処分を行った。

今後、このような事故が起らないよう町の委託業務等について危機管理マニュアルの策定を進め、安全対策を講じて参りたい。

すマラソン選手として国内外の大会で活躍。2年前からスキーに転向し、今季、ワールドカップ第2戦で5位に入るなど着実に力をつけており、不断の努力が今回の快挙につながったものと思われる。

町では両選手の活躍を讃え、榮譽賞の贈呈を行ったが、本町出身の選手が世界の檜舞台で活躍されることは大変喜ばしく明るい話題であり、次世代を担う子ども達に夢と希望と勇気を与えるものである。両選手は、来年開催のバンクーバー冬季オリンピック、並びにパラリンピックの日本代表選手の有力候補であることから、代表に選出されるよう心から期待したい。